

図書館だより

創刊号(通巻1号)

令和7年10月1日発行



『近畿地方のある場所について』(背筋/著 KADOKAWA)や『変な家』(雨穴/著 飛鳥新社)などネット発のホラー小説が話題となり、映画やコミックなど幅広いメディアミックスが展開されたり、YoutubeやTikTokなどSNS上でも、怪談・ホラー系動画が人気を集めています。また2025年10月から、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の妻・セツが主人公のNHK朝ドラ「ばけばけ」が放映されます。まさに「令和の怪談/ホラー・ブーム」到来です!そこで、記念すべき「図書館だより」創刊号では、

「怪談・ホラー本」を特集します!



◀ 『怪談』

ラフカディオ・ハーン/著 南條 竹則/訳 光文社古典新訳文庫

1890年に来日したハーンの生前最後に刊行された『怪談』は、日本に古くから伝わる説話や口承、『夜窓鬼談』『百物語』といった文献に範をとりつつ、ハーン独自の視点で「再話」した作品集です。

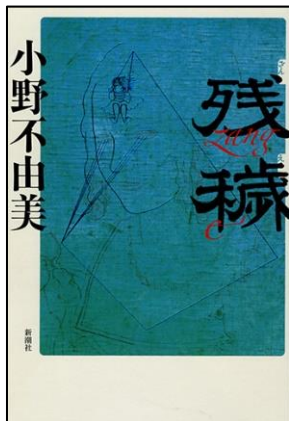
誰もが知っている「雪女」、「耳なし芳一」、「ろくろ首」をはじめ、外国人であるハーンを魅了した、ジャパニーズ・ホラーの原点、ここにあり!

『稲川怪談 昭和・平成傑作選』 稲川 淳二/著 講談社 ▶

怖いけど、楽しい。この「にわ楽しさ」が、怪談の魅力なんですよ。

今や、テレビやネットなどで怪談トークを売りにする芸能人は多数いますが、その元祖として真っ先に名前があがる稲川淳二が、これまで語ってきた怪談のなかから、記憶・噂・場所・噺の4つのテーマごとに計40作を厳選。怪談芸人の真骨頂が堪能できる1冊。





◀『^{さんえ}残穢』 小野 不由美／著 新潮社刊

この土地には、何かが憑りついている。

作家の私のもとへ届いた手紙には、東京郊外の「岡谷マンション」の寝室で、畳を擦るような、箒で掃くような奇妙な音が聞こえ、また白い布が揺れている目撃談が記されていた。以前、同じ怪異現象を綴った別の手紙をもらったことを思い出した私は、差出人の住所が同じであることを知り、共通する原因があるのではないかと疑い、調査を開始するが…。

山本周五郎賞受賞作、2016年に実写映画化された不朽のJホラー！

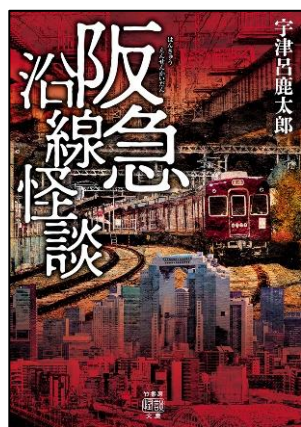
『入居条件：隣に住んでる友人と必ず仲良くしてください』

寝舟 はやせ／著 KADOKAWA ▶

借金を背負い、自殺を考えていたタカヒロが目にした、「今すぐ人生がどうにか
なってもいい人募集中！ 月給15万～ ※住み込み必須」との貼り紙。

そのマンションは、駅近でセキュリティも完備にもかかわらず、これまで23人の入居者が逃げ出したという。たしかに爛れた六本指の隣人が語る怪談はつまらないし、浴室には人型のシミがこびり付き、ポストを開ければ髪の毛がびっしり…など怪しげだけど、そんなことを無視すれば、案外いい部屋かも…。

小説投稿サイト「カクヨム」発の新感覚ホラーで、続編も連載中。



◀『阪急沿線怪談』 宇津呂 鹿太郎／著 竹書房怪談文庫

大阪・梅田を中心に、京都から神戸まで関西3大都市を結ぶ阪急沿線に伝わる不思議で、怪異な出来事や体験談を集めた1冊。

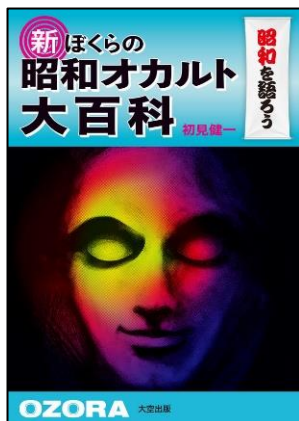
絵画から聞こえる呪いの声（河原町）、異世界へつながるエレベーターのある団地（豊中）、ポルターガイスト現象が多発するビル（梅田）、無限ループする道（西宮北口）など、いつも利用している駅周辺に、あなたの知らない心霊スポットが！

『異端の祝祭』^{ろか} 芦花 公園／著 KADOKAWA／角川ホラー文庫▶

心霊案件を専門に扱う佐々木るみの相談所へ、大企業モリヤ食品から内定をもらい、研修に行った妹・笑美からの連絡が途絶えた島本陽太が相談に訪れた。大量のカエルがひしめく部屋、巨大なオブジェを囲んで「ケエコオ」と奇声を上げる人々、そして妖しげな雰囲気、笑美を虜にする青年社長ヤンなど、不可解極まりない状況に対し、るみは、蛇神信仰の匂いを嗅ぎ取り、霊能者の石神に協力を求めるが…。

民俗学カルトホラー・シリーズの第1弾。





◀ 『新ぼくらの昭和オカルト大百科 昭和を語ろう』

初見 健一／著 大空出版

1999の年、7の月、空から恐怖の大王が降ってくる

1973年、『ノストラダムスの大予言』の出版で、空前のオカルト・ブームが始まった。ネッシーや雪男、ツチノコなどの未確認生物(UMA)、多数のUFO目撃談、スプーン曲げで火がついた超能力ブーム、全国に広まった口裂け女の噂、夏休みのテレビで特集された心霊写真……。大人も子どもも慄きながらも、夢中になったオカルト・ブームから昭和という時代を振り返る1冊。

『私たちが震えた少女ホラー漫画 あの恐怖が蘇る…』 ▶

オフィス J.B／編 辰巳出版

世間がオカルト・ブームに沸いていた70年代、少女漫画の世界でも、多くのホラー漫画が登場し、人気を博していました。『海の闇、月の影』(篠原千絵・作)、『悪魔の花嫁』(池田悦子・原作／あしべゆうほ・絵)などの、原画やコミックの表紙が多数掲載。懐かしさと一緒に、子どものころ体験した恐怖が呼び覚まされます。

犬木加奈子、葉月シモン、石上愛実の、単行本未収録の作品も読めます。



◀ 『ネット怪談の民俗学』 廣田 龍平／著 早川書房

「きさらぎ駅」「くねくね」「時空のおっさん」「杉沢村」……など、インターネット上で生まれ、語られ、流布している怪談の特徴について、「実況」・「画像」・「異世界」の視点から明らかにする、いたって真面目な研究書です。ケータイ／スマホの普及、各種 SNS の誕生、そして生成 AI の登場によって、変化し、進化し続ける日本や英語圏のネット怪談をめぐる、最先端の研究成果が新書サイズで読めます。

図書館からのお知らせ

☆ レトロ映画会

「弁士付き無声映画の上映と解説 (小津安二郎作品を観る)」

日時: 令和7年11月30日(日) 14時～(13時30分開場)

場所: 久世ふれあいセンター1階ホール

定員: 80名(先着順)

☆ おたのしみ会

「久世中学校吹奏楽部クリスマスコンサート + 司書によるブックトーク」

日時: 令和7年12月14日(日) 15時～(14時30分開場)

場所: 久世ふれあいセンター1階ホール

ぜひお越し
ください!



京都市久世ふれあいセンター図書館



■開館時間

平日（木曜除く）・土曜・日曜・祝日：午前 9 時 30 分～午後 5 時

木曜：午前 11 時 30 分～午後 7 時（祝日除く）

※児童だけの利用は午後 5 時まで

■休館日

毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は開館。その翌平日が休館）、年末年始

住所：〒601-8203 京都市南区久世築山町 3 2 8 久世ふれあいセンター 1 階

電話：075-931-0035 FAX：075-931-0026

久世ふれあいセンター図書館

ホームページ

X (旧 twitter)

電子書籍
サービス
京都市図書館
いつでもどこでも使えます！



ホームページと X、
電子書籍サービスも
チェックしてください！



パスワードの登録はお済みですか？

図書館カードをお持ちの方は、パスワードを登録していれば、ご自宅のパソコンやスマートフォンからも予約や延長ができたり、電子書籍も利用していただくことができます。詳しくは、図書館のカウンターにて職員にお尋ねください。